

くずもめの里だより

第二十号

秋深きあなたは何をされるのか

台風がひとつふたつと通り過ぎるたびに少しずつ気温が下がり、気づかぬうちに秋が深まってゆきます。ススキの穂やコスモスの花がひんやりとした涼風に揺れ、柿の実が夕日のようなオレンジ色に染まってゆきます。赤や黄に色づいた葉がハラハラと散り始めると、人は皆少なからずロマンチストな気分になるのではないのでしょうか。真夏の猛暑を無我夢中でやり過ごすように日々を送ってきた後なので、涼しさで一息つき、ゆっくりにくつくとひとつひとつの風景に目を向けられるからなのでしょう。

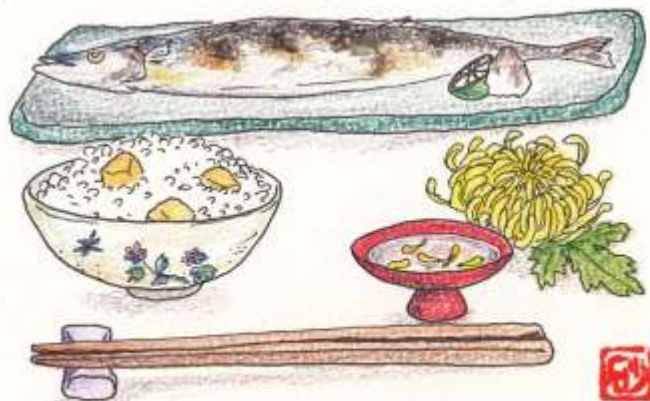
秋には様々な楽しみ方があります。秋の夜長には『読書の秋』。ドンブリやクズツルなどを利用したクラフト作りで『芸術の秋』。最近受験の影響で春に運動会をやる機会が多くなりましたが、『スポーツの秋』のイメージは永遠です。そしてやっぱり外せないのは『食欲の秋』。夏は食欲がわかず、そうめんや冷たい飲み物で胃の働きが鈍くなっていましたが、涼しくなると次第に食欲もわいてきます。そんなところに新米などの農作物や、脂ののったサンマや鮭など、おいしいものがわんさか出てくるので、初物食いがとても楽しみです。人は単に秋の味覚を楽しんで肥えてゆきますが、動物や鳥たちは厳しい冬を乗り越えるために、木の実や草の実をせっせと食べて栄養を蓄えています。山の栗やクルミの実などは、できるだけ動物のためにとっておいてあげることができればいいでしょう。

またバラや菊などの秋の花見も楽しみです。夏の花は一日花が多く、ひとつひとつの花の寿命は非常に短いです。しかし秋の花は涼やかな気候に守られて、とても長く花を楽しむことができます。キンモクセイの花の香りやザンパの花なども、深まりゆく秋を決定つける花です。さて今年の秋は何を楽しみましょうか？



9月9日は重陽の節句。旧暦では現在の10月にあたり、菊の花の時期であることから、菊の節句とも呼ばれます。長寿を願って菊の花びらを浮べた酒を飲むという風流な習慣もあります。旬のサンマや栗ごはんと共に、秋の夕べを楽しんでみればいかがでしょうか。

またリュウノウギクという野菊の葉をお風呂に入れた「菊湯」もありますが、リュウノウギクが手に入らなければ、同じキク科であるカモミールを入れてのんびりゆったりお湯につかってあたたまりましょう。



秋は空が高く感じられ、変化にとんだ雲も美しいです。小さな雲が集まる「うまの雲」。見た目に「うま」いわけし雲や「さほ雲」とも呼ばれますが、これは高い所に発生する「巻積雲」という雲です。低めの空に「うまの雲」が、大きく、底面に灰色の影がでる「高積雲」は群れる羊に見え、ここへ「うまの雲」と呼ばれます。今日の雲は何に見え、か足を止めなかがめみましょう。